

Do! ボランティア



(24)

社会に貢献する気持ちを忘れず

太陽グループ

私たちのグループは、安全・安心・明るい旭を目指して、平成15年10月に干潟小の保護者を中心に立ち上げました。最初は5、6人で、干潟駅の駐輪場の整理や地域の草取りなどを行っていました。

現在は、月に2回程度、児童の通学路である共和小学校周辺や干潟駅周辺、旭ニュータウン方面や市役所通りを、車を使って2、3人で巡回しています。活動の際は旭警察署の防犯課から腕章を借りて、夜8時過ぎから9時ごろまで交替でパトロールします。パトロール中に何か危険なことを発見したら、すぐ警察に連絡するようにしています。

会員は40代から70代までの17人で、皆、仕事に追われ、生活に悩みや不安もあると思いますが、都合のつくメンバーで交替しながら巡回しています。

ボランティアは、世間では生活に余裕のある人たちがすることのように思われがちですが、決してそうではありません。ボランティアを行うことで自分たちが勇気付けられたり、新たな仕事の原動力となったりすることもあります。だから、みんな

忙しい生活の中、こういった活動を続けていられるのだと思います。

人間は、自分のためだけに生きていくのでは、満たされません。社会に貢献したいという気持ちは、誰でも持っていると思います。これからも交替で巡回パトロールを続けることにより、地域の安全を守っていきたいと思います。

〈問い合わせ先〉
旭市社会福祉協議会

☎ 57-5557



データシート

人のうごき

〔3月1日現在〕	前月比
人 口	70,515人 (−23人)
男	34,471人 (−12人)
女	36,044人 (−11人)
世帯数	24,520世帯(+1世帯)

〔2月分の移動〕

転入	123人	出生	34人
転出	120人	死亡	60人

火 災

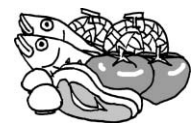
〔2月分〕	今年の累計
建物火災	1件 (4件)
その他火災	2件 (2件)

交通事故

〔2月分〕	今年の累計
事故件数	136件 (310件)
死亡者数	1人 (2人)

おいしさいっぱい

あさひの食材



第24回 キャベツ

旭市のキャベツは、150ヘクタールで作付けされています。10月の寒玉から翌年6月の春キャベツまで、6,570トンが収穫され、産出額は県内第2位を誇ります。

キャベツは、肌荒れの解消や免疫力を高めるビタミンCを豊富に含み、大きい葉1枚で1日の必要量の70%を取ることができます。ほかにも血液を凝固させたり、骨を強くして骨粗しょう症を予防する作用があるビタミンKや、胃かいよう、十二指腸かいようの予防や治療に効果があるビタミンUも含まれます。

【選ぶときのポイント】

- ・冬キャベツ＝締まっていて濃緑色でつやがあるもの。
- ・春キャベツ＝ふわっと丸みのあるもの。
- ・切り口がみずみずしいもの。

〈問い合わせ先〉

農水産課農業推進班(☎68-1174)

